

# Fujizack 通信②



これは、ふじざくら支援学校から保護者の方に情報提供する不定期通信です。

【第2号】令和2年7月9日 文責：校長

5月のある日…。学校周辺の林を散策したときの事です。

私は、林の中で1頭の大きなシカに遭遇しました。その時の光景は、まさに「もののけ姫」に出てくる「シシ神」との遭遇にそっくり(あくまでも個人の感想です。)でした。10秒ほど私と視線を合わすと、そのシカは林の奥に姿を消しました。お腹が丸々していたので、もしかすると赤ちゃんがいたのかもしれませんが。

さて、今回は【防災】について!

九州をはじめ各地で豪雨が続き、先週末から河川の氾濫や土砂崩れなどが発生しています。被害に遭われた多くの方に、心からお見舞い申し上げます。富士五湖地域でも大雨警報が発令され、風雨の激しい時間帯がありました。本校は、洪水や浸水、土砂災害の想定地域に含まれてはいませんが、皆さんの居住する地域や生活圏の状況はいかがでしょうか? 各地域のハザードマップ等をもう一度確認するなど、いざというときのために備えておく必要があります。

学校では、校内における安全対策に加え、登下校においても児童生徒の安全確保に努めています。登下校における安全には、①交通事故から身を守る「交通安全」、②犯罪から身を守る「生活安全(防犯)」、そして、③災害から身を守る「災害安全(防災)」の3つの視点があります。ここでは、今回のような激しい風雨における【災害安全(防災)】について考えます。

本校に在籍する児童生徒が、風雨の強い日に登下校する場合、次の危険性が考えられます。

- ・風雨が強いことは認識できても、それに伴う危険性を想定して回避する行動をとることが苦手である
- ・手足の動きに不自由さがある場合は、強風でバランスを崩しやすく、車道側へ転倒することがある
- ・通学路に冠水などの危険性があっても、迂回しないでいつもと同じコースを通行してしまうことがある

天気の良い日は安全に登下校できても、普段と違った状況においては、いろんな危険性が潜んでいます。児童生徒の状態はそれぞれ違います。また、居住地域の状況も異なります。各家庭において、一人一人に応じた安全確保の対策にご協力ください。なお、通学経路に危険箇所等があったり、通学に不安がある場合には、各担任に連絡してください。安全な通学について、一緒に考えさせていただきます。

これから季節が進み、台風などの暴風雨や大雪などもあろうかと思いますが、児童生徒の安全通学については、同様の対応をお願いします。また、送迎されている保護者の皆様も、運転が危ぶまれる場合には、決して無理をされないようにしてください。

なお、荒天等による学校日課の変更などは、保護者あて文書の配付や「マチコミ」メールなどで連絡しますので、ご協力をお願いします。



雨が続いています。夏の輝く空は、まだ先でしょうか?

5月に出遭ったシカは、この雨の林の中で、親子で元気に暮らしているのかなあ…。頑張れ!!